

人

二 三 受信一九三〇

電〇一四六六 作概〇

緊 急

共

符



一 護 衛 艦 隊 P
大海參一部 門司在勤武官 聯合艦隊口

機密第〇三一七一一番電

發 G E B 參謀長

戰局ノ推移ハ今日迄豫想以上ニ早キヲ常トシ貴司令部ノ門司移轉ハ
時日ノ經過ト共ニ益々困難ヲ加フルノミナラズ作戰指揮上支障ヲ來
ス場合ヲモ豫想セラルルニ付此ノ際南號作戰ノ終了ヲ待ツコトナク
速ニ實行セラルルヲ適當ト認ム。

通三五七 壽 B

(小澤)

20. 2. 4.

42

二三 受信二二四五 譯了二二五〇 電〇一四七三 作 概

作

南東方面部隊戰團概報着信艦所

共

符

機密第〇三一七一七番電

RXC警備部隊戰團概報第一七號(二月二日 二月三日)

二月〇九三〇戰團機「QBF」東口一「QBM」側銃撃一〇〇〇戰
團機「QBF」東口二「QB」側及「シード」方面銃撃何レモ戦果
被害 三月來襲戦 戦團概報第一六號ニ左ヲ追加「クヌア」方面「スン」河
右岸ノ敵ト交戦之ヲ退セリ 戦果道楽死體二〇以上 被害戦死兵
曹長一下士官兵一〇戦傷下士官兵一一輕機銃二破壊

通一七〇五 呂二P三十一(四九四五K)八通放 石川(阿部)

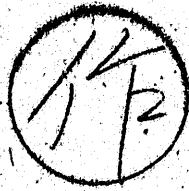
20. 2. 4-

二、開始一六二〇〇 一六四五 電〇一八二八 作

至急

第四六警備隊

第三〇特根戰團概報着信艦所



機密第〇三一七二七番電

四六警戰團概報第三三號

一三日〇八〇〇及一五〇〇F四U11TBFI1PBVI1
來襲「ヤツプ島」北部及「コロニ1」銃爆撃

二戰果F四U11撃墜一機(搭乗員ハ大艇ニテ救助セシ模様)撃破一機
被害輕傷一名。

通一九八六 呂一Bヲ十四(一五七+OK)三通 中村(榛澤)

20. 2. 54

ん

12

二 三
受信二〇四五
開始二〇五二
譯了二一一〇
頁〇一四二八
作 概

● パガン戰團概報着信艦所

機密第〇三一八二〇番

○七〇五十一〇一七
B-1二九延五二機一四四五
一五二〇レバ
リツク四機來襲被害輕微

通一六九九
才一三(五一〇〇K)(父通 岑(阿部)

2. 2.4

二 三 受信 〇三 一〇五 譯了 〇一五五 電 〇〇 一五五 一 作 概
四 三 譯始 〇〇 一〇五 譯了 〇一五五 電 〇〇 一五五 一 作 概



七基地航空部隊戰闘概報着信繼所

硫黄島航空基地

機密第 〇三一 九一二番電 三分ノ一、三

二空襲部隊戰闘概報第一五九號 (二月三日) 其ノ二

(1) 一三〇 一三〇ニ P I 三八、五機ヲ發見 一一四五 P I 三八、

一六機來襲飛行場及南ヲ銃撃 一二五二 B I 二四、四機南方ヨリ

本島上空通過 (高度四〇〇〇米) 投彈キズ零戦二機陸軍一式戰闘

機三機及地上砲火ヲ以テ何レモ南方ニ撃退

(以下三分ノ三)

一七〇五 B I 二四、二機上空通過セルモ投彈キズ南方ニ遁走

戦果被害ナシ

通 一七二五 呂一 B ケ四 (五一〇〇 KC) 父通 若田村 (小澤) (一)

20. 2. 4

(四)發射彈數(一門平均保有彈數) 十二糎高角砲一五(一〇七)

三一七三四・六五度六〇籽ニ探知一七五〇B I 二四、六來襲東方海

中ニ投彈南方ニ遁走

戰果被害ナシ

四明日實動機數 零戰二機天山二陸軍一式戰闘機二。

(二)

作

急

二四

受信開始〇〇二五八〇

了〇五一〇 電〇一六二〇

作

七 基地航空部隊戦闘機着信機所

備 賈 島 空 基

機密 〇三一九一二番電

三分ノ二

四 戦果？！三八 三機墜 (空戦ニ依リ) 一地上砲火ヲヨリ二ノB

二四 三機撃破 (空戦)

空戦ニ依リ 陸軍一式戦闘機一機被弾

五 發射彈數 (一門平均保有彈數) 十二糎高角砲一〇 (一〇七) 七

五糎野戰高角砲七 (三〇九) 二五糎機銃七九八 (一五〇一)

十三糎機銃一八〇 (二四二四)

三(四) 一六二九 一五五度一四五糎ニ探知零戦二機陸軍一式戦闘機二機

(電信課註 本電三分ノ一三既配布)

一八一七

同日分四(日) 横通

平島 (河田)

20. 2. 5

二四 至急

受信開始 〇〇四二七五 諄了 〇五二五 電 〇一六二二 作概

作

九〇三空總派遣隊

九〇三空

海軍總司令部 横濱 坂警 横防戦 父根 三海上護衛隊 入替

機密第 〇三一九三〇番電 二分八二

電令作第一四號

一、當分、開對海飛行哨戒實施要領改正

以串本八丈島父島以外、各派遣隊、日施哨戒ヲ取止、專ラ直接護衛ヲ實施

以串本八丈島及父島各派遣隊ハ直接護衛ニ併行シ晝間一回ノ標準

航空燃料節減ニ關シテハ機密橫濱信電令作第二十八號及特隊機密第

通 一八八二八

第一三三十八 五二〇〇

期付 島田

○一七二五番電ノ通ナリシモ各隊ハ逼迫セル燃料事情ヲ深刻

ニ考察本編旨ノ徹底ヲ期スベシ

(4) 乙飛行哨戒等ハ情状ヲ正確ニ把握判斷ノ正確ヲ期シテ後發動スル

モノトス但シ戰機ヲ逸セザルヲ要ス

回割當燃料シテ訓練飛行官機上教育ノ不足ハ地上教育法ノ劃

期的創意工夫ニ依リ之ヲ補フ

早

(4) 提出書類等ハ期ニ餘裕ヲ以テ隊務會報等出席ノ場合ハ汽車便ヲ

利用一般要務飛行ハ極減ス未着

人

二 三 受信二一五〇 了二三四六 電〇一五一八

參作 本機



南東方面部隊戰鬪概報着信處所

機密第〇三一九五五番電

R 方面部隊戰鬪概報第六五號

一三日〇七〇〇及一〇〇〇各B二五 一五機計三十機夫々市内

及R R E 爆撃自〇五一五。一六二五至F四U二乃至四機R R

及周邊哨戒計一九機他ニ大型飛行艇一機F四U二機ノ編隊及

B二五 一機R R 周邊偵察

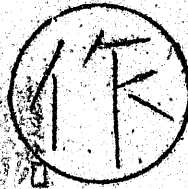
ニ戰果ナシ被害地上施設ニ輕微ナル損害アリ。

通一七一五 呂二Bラ十八(四九四五KC)八通 西村(雨谷)

二四 受信〇〇三四五 譯了〇八二〇 電〇一六四四 作概
譯始〇〇四一〇

緊 急

二 六 根



二六根戦闘概報着信艦所。三南遣艦隊各口
密第〇三二〇四七番電二分ノ一

六五E戦闘概報三日

三二キ一七〇〇單艦

一。空襲状況 〇七一五P1四〇 四機一〇〇〇單發五機ワシレ地區銃

爆撃一六〇〇 一七一〇スピードファイヤ各二機カウチン地區偵察

戦果艦隊P1四〇 一機撃破P1四〇 二機被害ナシ

三艦船状況 七口タイ水道魚雷延延九。

電信課註 本電二分ノ二號配布

通一八三八

呂一B分三八六一二二五KG)廿一通 自照(小林)

20. 2. 5-

人

475

二 三 受 信 二 三 四 五 譯 了 〇 一 一 〇 電 〇 一 五 四 九 〇 務 〇

緊 急

● ザンボアンガ航空基地

● 第一聯合基地航空部隊戰況概報着信艦所

機密 第 〇 三 二 〇 五 五 番 電

MEM 戰 況 概 報 「二月三日」

一 一 〇 三 〇 水川丸病院波止場碇泊中 P-1三八 四機偵察 (高度) 五〇〇

〇 乃至六〇〇〇 敵艦 (一機) 後南東ニ去ル機密ナシ

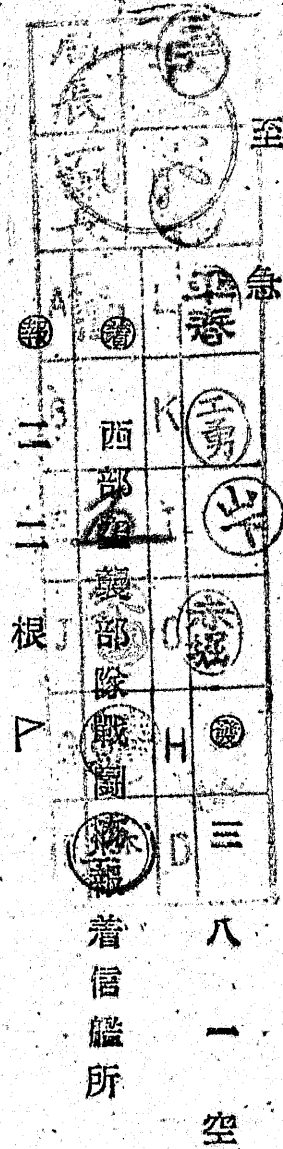
二 最近 (一月下旬以降) 屢 「一〇三〇ヨリ一三〇〇ノ間」

通一七五五 呂一Bラ十八七七八五五KC (廿二通) 谷島 (小野田)

2. 2. 4.

44

二三 受信 〇〇八七一五 譯了 〇八四三 電 〇一六四五 作 概



機密第〇三二二二七番電

三八一 空戰 概報 (二月三日)

二〇三七 敵大型機一機 B B 來襲 月光一機ヲ以テ 遺棄セルモ 捕提出來
マ 被害ナシ。

通一八八一 呂一Bヲ十八 (一七五九〇KC) 十道 原(森田)

20. 2. 4-

人

作

急

受信一三三二

詳了二四一五

電〇一七五九

作機本〇

硫黃島航空基地

七基地航空部隊戦闘概報着信處所

機密第〇四〇九一五番電

二二A B 戦闘概報第一六〇號 (二月四日) 其ノ一

一、三日一八四六ヨリ四日〇一五三迄敵大型各一機八次來襲大部分

海岸及海中一節大阪山元山玉名山ニ投彈

二、被害人員重傷者二名ニ五耗單裝機銃一大破。

通一九七八

呂一B夕四(一〇二〇〇K) 父通

明比(細川)

20. 2. 5-

人

二 四 受信一六三一〇五 譯了一七四六 電〇一八三三 航作 概本〇



● 新竹空基地・九〇一空 (大村空基地)

● 海上護衛總口・第一護衛艦隊口・九〇一空・佐 鎮・吳 鎮

機密第〇四〇九二四番電

電令作第六號

一、出撃部隊飛行艇ノ行動豫定左ノ通改ム

四日大村發進佐伯着

五日〇八三〇佐伯出撃東港ニ向フ

六日機長所定ニ依リ東港發進佐伯歸投營隊飛行長ノ指揮下ニ入ル

二、増援部隊ハ速ニ海上護衛總司令部機送機一機ニ空機番號Z八八一ヲ

第一航空隊ヨリ佐伯ニ空機番號新竹出撃部隊 後發 部隊ノ空機ニ

増援スベシ。

通二〇一二 呂一三(三)吳 若 江(吉)田()

1920

0. 2.5

停

二 四
作戰緊急

受信 一八一三
開始 一八一三
了 二〇三〇
電 〇〇〇
一八一八
八七一六
二三六

作
艦

共

符

三 一通五分遺隊。高雄通信隊
一 聯合基地航空部隊
高 警。聯合艦隊口。六艦隊口

機密第〇四〇九三一番電 三分ノ二二三

發 第七潜水戦隊司令官

宛 第六三四海軍航空隊司令 南西方面艦隊參謀長 呂號第四六 水艦

ツゲガヲ才航空基地菲島前進 轉進ノ爲伊號三七二潜水艦ヲ充當セシメラ

ルル豫定ノ所左記配慮アリ度

一 通信潜水艦ハ東京通信隊第四放送及六艦隊A放送五二九五 〇一五八

八五 〇〇六〇〇 一八〇〇 轉換才受信浮上中高雄通信隊四五七二。

通 二〇七九 二〇八二
二〇八三

呂 二Bラ一八 (B) 七 s s V

田中・齋藤・高橋
(塩田)

(1)

20. 2. 5-

五 K0 (ヌー〇二) 九一四五 K0 (ヌ二〇二) 及「ハツリナオ」ノ傍受

ニ努ム潜水艦送信電波六三九〇 K0 一五四七〇 K0 〇六〇〇 一八〇〇

轉換ナリ「ハツリナオ」ヨリ潜水艦宛ハ高雄通信隊中繼トシ東京通

信隊第四放送及六艦隊 4 放送ニ依リ確達

ニ揚塔點エンガノ岬燈臺ノ一六〇度一〇漣 (又ハ一六五度五・五漣)

ノ線定潜水艦ハ日没後接岸時白燈ヲ點滅スル外味方職別チ行ハズ

對空遮蔽ヲ附シ光達距離五〇〇〇米ノ導燈ヲ二個所ニ置潜水艦ニ

對スル警報通信夜間 (赤) 機銃曳眼彈射擊及赤燈 (赤旗) チ點出サ

レ度

三左記通知サレ度

(イ) 敵飛行機ノ來襲狀況 (潜水艦入港時刻決定上必要ニ付最近狀況及

變化アル毎ニ詳報ス)

(ロ) 適當ナル揚塔點導燈警報實施大發待機位置

(ハ) 海面防備狀況附近海流

(2)

(三)「パツリナオ」基地「アバリ」基地ノ無線通信電波。時刻通信系
 及G F 機密第〇四〇〇〇六番電ニ依ル爾後ノ使用暗號書（潜水艦
 ニ準備ノ要アリ）

四 企圖 秘匿ヲ重視確度無キ暗號書ヲ使用セズ電波發射晝間舟艇ノ移
 動等潜水艦ハ揚搭日數日遲延スル場合モ之ヲ通報セズ（伊號第一六
 〇潜水艦ハ日没以後毎日待機）
 五 呂號第四六潜水艦ノ實施要領通知ヲ得度。

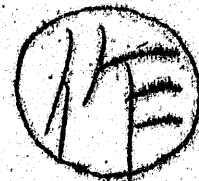
下

二四 受信一五六一六 譯了一六三五 電〇一八〇一 航作概本〇

緊急

發 吳

連



三三二 航空隊
東海參一部。聯合艦隊口。阪警

機密第〇四〇九五九番電

發 吳 守府附

通 報 防衛總司令部 中部軍(處理済)

吳 電令作第四號

一 第三三二航空隊司令ハ作戰可能兵刀ヲ率テ阪神方面基點ニ進出作戰
ニ關シ防衛總司令官ノ指揮ヲ受クベシ
其指揮轉移ノ時期ヲ二月五日トス。

海三〇八九 呂一〇ケ四

東京(見)

20. 2. 5.

K

作戰緊急

二 四

受信一
開始一四一〇

譯了一五二五

電〇一七七二

潛作艦〇

共

符



高雄警備府

東通・南西方面艦隊口・一聯合基地航空部隊△
一聯合通信隊・呂四六・呂一一二・呂一一三・呂一一五

機密第〇四一〇一五番電

發 第六艦隊參謀長

G K P 機密第〇二一一一五番電及同第〇三一五四八番電ニ依ル物件
及陸兵輸送ニ關シテハ貴府ニ於テ所要ノ向ト交渉斡旋ノコトニ御取計
ヲ得度尙各潜水艦ハ行動未明ノ情況ニ付補給整備ニ關シテハベク御配
慮ヲ得度。

通二〇三三

呂一Bケ三(五二九五)六口放

中村(杉本)

20. 2. 5-

二
五四 愛信二一五九 靜了〇五四五 電〇二〇七六 災海



東京通信隊

二 遣支艦隊 F

機密第〇四一〇五番電

發 參謀長

宛 船舶救難本部長

東通機密第〇三一七四〇番電關聯

現在南支方面ニハ救難ヲ要スル船舶多數アリ殊ニ航行船團ハ全部
南支沿岸ヲ接続スル現状ニ於テ急遽救難ヲ要スル場合多シト認
ラルルニ付尊條及上海派遣隊ハ香港ニ歸投スル様取計ヲ得度

通二二二二二

呂一Bが四(四七〇五KC)高通 半澤(細川)

20. 2. 5-

5

緊
急

二
四
受
信
始
了
一
九
八
八
三
五
二
五

電
〇
一
九
三
六

作
發

第一海上護衛艦隊西方面



- 一 船團運航 (昭南) ・ 五二海防艦 ・ 一〇船團運航 (六〇海防艦) ・ 針尾
- 海上護衛總部隊口 ・ 一海上護衛艦隊口 ・ 一海上護衛艦隊西方面

機密第 〇四一一四六番電

宛 二二海防隊司令

警方面最近約一ヶ月間敵情 (方位測定ヲ含マス) 中實航路ニ關係アルモ
ノ次ノ如シ

- 一 大レダン島ノ七〇哩圏内會敵五被害三
- 二 一〇四及一〇六日間にテ發見四被害一
- 三 日一二九馬來東岸ヲ南北スルコトアリ

通二一七五

於一三 (一七五九〇K) 一〇通

西河 (鹿島)

20. 2. 5-



作

三四 受信一三三二 譯始一四三〇 譯了一六四五 電〇一七九八 本概〇

日夕敵情 艦着信 盜所

機密第〇四一二〇五番電

三日B...二九ヲ含ム發見機約六二機(内B...二九南行四機北行一機輸送機二九機B...二四 一一機)夜間單機ラシキ爆音南北ニ移動スルモノ連日十數回視界内艦船海防艦一驅逐艇一海上潜水艦ラシキモノ一驅逐艦二大型上陸用舟艇三針路何レモ南西出港シタルモノ大型輸送船一驅潛艇一海上トラツター曳船一艦種不明一潛望鏡一針路何レモ北東。

通二〇七三 トトオ(八九九五)四通放 岑(横田)

20. 2. 5

二 函 受信 二〇六四一
譯了 二〇五〇 電 〇一九三〇
航作 本概 〇

至 急

九 三 一 空



舟 山 島 警

海上護衛總口

第二南遣艦隊警備
支那方面艦隊口・佐領・三一通

機密第〇四一二一六番電

當隊舟山基地派遣隊（第一〇二戰隊司令官ノ指揮下ニ入ラシメラル
ル豫定）ハ二月中旬依命定海基地ニ進出敵潛掃蕩作戰ニ從專スルコ
トヲ目途トシ目下伯ニ於テ作戰準備中ノ處現地戰備ノ促進ニ圖シ可
然配慮ヲ得度

尙現行作戰ノ狀況ニ依リ專前現地ニ於テ調査打合ヲ實施致度腹志ナ

通二一二八 呂一Bケ四（B）吳 清水（森 田）

20. 2. 52

人



緊
急

了始信

一九一六
一九一五
一九一四

電
〇〇一九八六

九
〇

空

航作

本機

九三六空本隊・九三六空（カムラン航空基地）・一海上護衛艦隊
九〇一空（三亞航空基地）（香港航空基地）（淡水航空基地）

海上護衛艦隊司令部・厦門根下・一〇根下・二南遣艦隊司令部・海南警備府

機密第〇四一二三八番電

二分ノ一二

一日F電令第五四號關聯

在東港零式水偵一二機（搭乗員一八組）ヲ左ニ依リカムラン（キノン）

三亞、厦門ニ進出セシム

一進出基地

(1) 進出機數（搭乗員組數）

遙二一五六・二一八二

呂一日ヶ四（四七〇五K）（高選）

齋藤・傳崎（鹿島）

20. 2. 5.

(ロ) 飛行機進出期日

(ハ) 基地員 (各科合計) ノ順

カムラン (キノソ)

(イ) 六 (九)

(ロ) 三月六日

(ハ) 約三〇

三 距

(イ) 三 (四)

(ロ) 三月八日

(ハ) 三二

(イ) 三 門

(ロ) 三月八日

ニカムラン飛行隊ハ今頃ク九三六空司令官ノ指揮ヲ承ケシム。

(ロ)

5

開始一六三〇
丁一七三〇
〇一八一七
參作
本概

緊
急

南
鳥
島
守
備
隊

443

東通・聯合艦隊口・横通・三航空艦隊口
小笠原部隊・硫黄島空軍

機密第〇四一四三〇番電

發 南鳥島守備部隊指揮官

着信者 横鎮長官 軍令部次長 參謀次長

受報者 厚木空 第二十二S司令官 父根司令官

戰闘概報（二月四日）

一、一〇四一・二四五度八一籽ニ探知横イテB十二四 二機來襲高度
約五・二〇〇米ニテ海中投彈

三、發射彈數（殘彈數）十二纏七高角砲三四（一一六八）

三、戰果被害ナシ。

通二一〇三 呂一

20. 2. 5.



二五 受信〇〇一四〇五 譯了〇六〇〇 電〇〇二一五六七 作廢〇

急 九 五 一 空



九五一航空隊總(派遣隊)

海 護 總 口・聯合艦隊口・支那方面艦隊口・上根

佐 鎮・一護衛艦隊口・旅根▷・青根▷・九〇一空・鎮營

機密第〇四一四三〇番電 二分ノ一二

南號作戰ニ關スル鎮營及九五一空司令官間ノ協定左ノ通

一上海派遣隊(舟山島^{青島}兩派遣隊ヲ含ム)ト鎮營トノ護衛境界ヲ東經一

二三度三〇分トシ重複量ヲ互ニ出來得ル限リ大ナラシム

二濟州島派遣九五一空陸攻ハ主トシテ黃海中南部ノ遠距離直接護衛ヲ

擔當

三濟州島ニ派遣八〇一空陸攻ハ主トシテ黃海灣心部ノ哨戒掃蕩副トシ

テ國海城ノ直接護衛ヲ擔當

四爾餘ノ護衛航空部隊ハ各該區域内ノ直接及間接護衛ヲ強化

通二二三七四 呂一〇分 (一九一五KG) 佐二放 小野(杉本)

20. 2. 6

人

二 四 受信始一七六四〇二 丁一七五〇 電〇一八二三 作部 〇

無線線路所用共通符号

六 艦隊各口

高野・福西方面艦隊口



機密第〇四一四三一番電

聯合艦隊參謀長

南西方面艦隊機密第〇三一五四八番電

高雄浦中ノ虎兵艦ノ一部ハナシ梅北限リ潜水艦ヲ以テ北非方面ニ

便乗輸送ノコトニ取計ハク度。

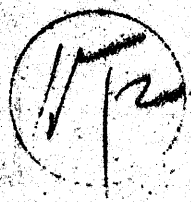
編二一二七 品一ツラ十八

ノ

二
五四 受信
始〇二二〇五

譯了〇三〇〇 電〇二〇〇〇 作

概



○ 菲島部隊戰概着信處所

○ 三

三

警

機密第〇四一五一五番電

三三警戰閣概報（二月四日）

一〇九三三B1二四 二機來襲投彈一六（飛散瞬發螺旋）〇九五五北

東ニ墜退 一〇四五P1三八 三機P1二五 一機偵察ノ爲侵入

ニ戰果ナシ

被害 戰死八 重傷九 輕傷九 建物二損傷輕微。

通二二三七 口一Bラ十八（七八五五）三二通 中川（鈴三）

20. 2. 5

人

二五 受信一五四一 譯了一七〇〇 電〇二二九八 作 概

緊急



五基地航空部隊戦闘概報

三〇根

機密第〇四一七〇〇番電

四日戦闘概報

一〇四五一一一五グラマンFBFI一七機大艇一機〇度PI

三八一機三〇度ヨリ進入マツミコ島銃爆撃後全機七〇度ニ去ル

其ノ他視界内飛翔ダダラス東行二機西行一機爆音聴取二回

ニ戦果被害ナシ

三昨日撃墜F四UI一ノ搭乗員一七〇〇頃水中ニ没ス。

道二五六〇 呂二B(一五七一〇三)三道 山本(川崎)

20. 2. 62

二五 受信 〇〇六五〇〇 譯了 〇七五五 電 〇二一一一 補 殿

至 急 鹿屋 航空 基地

佐世保 軍需部

軍需局 九州航空隊 出水航空基地

機密第〇四一七五八番電

發 二十五 航空 戰隊 司令官

一 出水 空地 殘留 基地ニ 伴フ 出水 基地 經營 需品

二 處理 內地 基地ノ 實情ニ 鑑ミ 九州 空出 水空 折半 スルコト ナリタ

ルニ 付 出水 基地ニ 對スル 經營 需品ハ 定額 表ノ 範圍 內ニ 於テ 補充 方

取計 ハレ 殿

通 二二八六 呂一B 分三 (B) 佐通 東野 (杉本)

20. 2. 5.

二四

受信開始
〇〇三〇〇〇

譯了
〇一五〇
電
〇一九九〇

作
概

緊急

第八警備隊

二三根職概着信艦所

機密第〇四一八二二番電

戰國概報（二月四日）

一〇九四四一〇九五八P一三八 二「コスハサ」各地旋回偵察

三一〇二五七一〇五七「ボーファイター」一二機來襲内四機トシタノ

地區銃爆撃 戰果撃墜二機 撃破二機 被害海軍一死亡

三同時刻 PBY一機「コスハサ」地區周邊旋回

（註 海軍ハ防空隊トモ解シ得）

通二二八一 〇一B (二一) 通明比 (鈴三)

20. 2. 5.

二五 受信一二二九 譯了—三三〇 電〇〇二二一七七 航作 本概〇



一護衛艦隊P。一—根D。九三六空(キノン 航空基地)
九三六空(カツトライ水上基地)。九三六空。
南作戦部隊。三十三海防艦

機密第〇四一八三二番電 二分ノ二

通報 ツーラン九〇一空派遣隊指揮官

明日豫定

一、カムラン基地

(1) 〇四三〇ヨリ〇八〇〇迄カムランヲ中心トスル南北各七〇浬距岸

二〇浬内(爾今「イ」哨區ト呼稱ス)電探哨戒

(ロ) ヒ九一船團直衛磁探掃蕩

ニキノン基地ヒ九一船團直衛

通二四九二

天一Bケ四(九一四五)高通放

野村(新井)

(一)

20. 2. 6°

三、九一船團直衛細目ハ「キシユアンテイ」發航判明次第追テ定ム
 四、カツトライ基地ヒ八八〇船團直衛
 五、ツィラン基地船團ナシ
 六、ツィランニ通信施設完備迄ハ一一特根經由ツィラン陸軍部隊ニ連絡
 方配慮アリ度。

(二)

二 受信二二五九 詳了〇一四〇 電〇〇一九八六六 作 概
五 四 譯始〇〇二五五



●

七基地航空部隊戦闘概報着信鑑所

●

硫黄島航空基地

機密第〇四一八三二番電 二分ノ二

F二A B 戦闘概報第一六〇號 (二月四日) 其ノ二

一〇九三九・一三〇度一八〇杆ニ探知零戦一機陸軍戦闘機二機邀撃セ
ルモ敵ハ北進來襲セズ

三・三三四・一六〇度一五〇杆ニ探知零戦機陸軍戦闘機二機ヲ以テ
邀撃セルモ敵ハ三〇杆迄近接後雨下來襲セズ

三(一)一四三五・一六五度機杆及一四五五・一五〇度一八〇杆ニ編隊探

通二二二二八

呂一Bヶ四 (B) 木更津航空基地

日三 野原浦 (塩田)

1

20. 2. 5.

知シ零戦一機陸軍戦闘機二機邀撃一五三九B一四機ハ上空
ヲ通過燒夷「カイド」ノ如キモノヲ投下一六一七B一四九機
北海岸海上ニ投下何レモ南方ニ遁走

(回) 戦果 被害ナシ

(ハ) 發射彈數「一門平均保有彈數」十二纏高角砲一二一「一〇三」
七・五纏野戰高角砲六「三〇七」

四 明日實動機數 零戦一機天山二機陸軍戦闘機二機。

人

二五 受信一四一五六 譯了一五二五 電〇二二六七 作 概

緊急

●ハラオ第一航空基地

●五基地航空部隊戦闘概報

●三〇根

停

機密第〇四一八三五番電

戦闘概報二月四日

一敵四〇一延二六P一三八 一機來襲飛行場地區偵察六〇度方

向銃聲數回投彈三個視界内通過機小型機延三一

二大型機九昨夜モ夜間延五機飛翔ス

三戰果被害ナシ。

通二五五一 呂二Bラ十(一五七一〇EG)三通

野木(敬ひ)

20. 2. 6

4

二 五四 受信ニ二五二 譯了〇一ニ〇 電〇二〇五一 航作機本〇

至急



● 大海一部・横須賀運信隊
● 父根卜

● 共符

機密第〇四一九〇五番電

發 母島警備隊司令

宛 横領參謀長

一七〇〇ヨリ一八一五ニ互リ敵大型機三〇數機以上南下我空母陣ノ現状ニ鑑ミ小笠原方面島嶼基地ヲ航空要善化シテ航空兵力ヲ充實敵往復ノ途ヲ遮絶或ハ敵歸途ヲ追躡シテ敵マリアナ方面基地ヲ空襲或ハ敵ガ我が本土ニ來寇ノ際敵背後ヨリ空襲スル等ノ方策ヲ速ニ探ル要アリト認ム。

自一三分四(五一〇〇KG)交付

20. 2. 5

至急

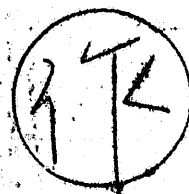
二五

受信〇〇六五五
譯始〇八一〇

譯了一四三五

電〇二二七四

作概



●

南東方面部隊戰闘概報着信艦所

● 四

通

機密第〇四一九三八番電

R X 方面戰闘概報第四一九號 (二月三日)

一 R X P O 五 一 O F 四 U 二機哨戒艦艇 Q B P U 銃砲擊〇八三七同一機

東航 R X E O 八〇〇同二機南海砲臺銃擊後一機南方四湮ニ墜落〇

九〇〇同四機及大艇一機墜落機搜索

ニ〇七〇〇魚雷艇二隻 Q O O 東航一月二十日艦爆四機「ムツピナ」

見張所爆撃被害同見張所 (半壞) 宿舍全壞二十一日〇八〇〇白人

人指揮セル土民軍約三〇名同見張所ニ來攻シ之ト交戦撃退シツツ

一應「トコロ」ニ避退セリ下士官一名負傷已ムナク同見張所撤收セ

シム。

通二四一五 呂二Bラ一 (八九九五) 四通放 東譽 (小澤)

20. 2. 6



二 五 譯受 始信 〇〇 四〇 四五 六五 譯了 〇五 二〇 電 〇二 〇四 二 作 概



千島防備部隊戰鬪概報着信艦所

機密第〇四二〇一七番電

千防戰鬪概報第一〇一號(二月四日)

〇九一五B | 34 三機高度一〇〇乃至三〇〇米ニテカムチヤツカ方向

ヨリ侵入カゲノマニテ電波探信儀及兵舎ヲ銃爆撃ヒルヤリテ經テ武

藏灣ニ侵入同地ノ電探ヲ銃爆撃東方ニ避退

戰果ナシ 被害武藏灣電波探信儀空中線ヲ破損陸軍カゲノマ戰死一

名

通二三二四

天三Bケニ(B)大湊

齋藤(酒卷)

20. 2. 5-

ト

二 四 受信 〇〇三〇〇二 譯了 〇〇四〇 電 〇一九六七 航作 概 〇

緊 急 厚 木 航 空 基 地



第一挺進航空部隊。二五航戰。横濱空基地。
南西方面部隊戰艦着信艦所。二一航戰。第一聯合基地航空部隊。上海空。小祿空基地。

機密第 〇四二〇四七番電

一 U P B 信電令作第二二號

一 各種ノ臺灣向ケ空輸ヲ再興

三 臺灣ニ於ケル空輸先ヲ左ノ通改ム艦信紫雲 豊星 銀河 (臺南) 天山 (

仁德) 零戰 (臺中) 月光 (高雄) 陸攻陸上輸送機 (新竹)。

第二二六日 口一Bケ四 (B) 横通 齊藤 (鈴三)

20. 2. 5